

<b>A O 6</b>		<b>商 標 保 護 強 化 実 務</b> ～商標出願・権利化・保護手法～
<b>初級～</b> (TV 聴講あり)		
講 師	弁理士 笹木 幸雄 (日本パテントデータサービス(株)顧問、元 富士通(株) 知的財産戦略室 シニアディレクター)	
日程・場所	東京本会場 → TV会場：JPDS 名古屋、大阪、九州各営業所 6月18日(火)、12月18日(水)	
時 間	1日間 (10:00～16:00) // 昼休憩 11:45～12:45	
アクセス	<a href="http://www.jpds.co.jp/company/access.html">http://www.jpds.co.jp/company/access.html</a>	
定 員	東京本会場：24名 // TV会場：各会場共10名 (先着順申し込み)	
受講料(税別)	本会場：20,000円 (TV会場：16,000円)	
対 象	知的財産部門の実務者、商品企画、営業、総務部門、他実務者向	
<b>内 容</b>		
<p>商標(ブランド)は、自社の事業を需要者・消費者にアピールして事業を有利に展開させ、もって、自社に企業収益をもたらす重要な企業資産となるものです。しかし、商標の権利化や実際の商標使用場面において遺漏があると、他社による使用を排除することもできず、時には他社商標権の侵害を問われることにもなりかねません。</p> <p>本セミナーでは、自社商標の権利化・保護のためいかなる点に留意して調査、出願、権利維持、紛争対応等に取り組むべきか具体的なノウハウを交えて戦略的な商標管理の手法を学びます。</p>		
<b>プログラム</b>		
1. 商標保護での留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>商標の識別力、商標の類否、商品・役務の類否</li> <li>商標権侵害(専用権・禁止権)</li> <li>商標権の維持(適切な使用、不使用取消、普通名称化)</li> <li>外国商標制度</li> <li>周辺法(不正競争防止法、水際規制、ドメインネーム保護、等)</li> </ul>	3. 商標出願・権利化のつづき
2. 商標調査の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査要否判断、調査の時期・範囲</li> <li>国内外商標調査手法</li> <li>ネーミングプロセスと調査の連携</li> <li>調査結果と採用リスク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拒絶対応</li> <li>外国出願要否・国の選択、グローバル権利化</li> <li>更新管理・追加出願</li> <li>グループ会社管理</li> </ul>
3. 商標出願・権利化	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願要否判断</li> <li>出願商標の態様(標準文字・ロゴ・図形)、商標・商品役務の指定</li> </ul>	4. 商標の使用・侵害対応： <ul style="list-style-type: none"> <li>商標使用の社内ルール(適切使用・普通名称化防止策、等)</li> <li>模倣盗用・権利侵害への対応</li> <li>商標ライセンスでの留意点</li> </ul>
		5. 商標管理： <ul style="list-style-type: none"> <li>強い商標と弱い商標</li> <li>コーポレートブランドとプロダクトブランド</li> <li>社内体制・商標管理部門の役割</li> </ul>

## 【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <http://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

## 【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

## 【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。ただし、TV会場での聴講の場合には継続研修の認定対象外となります。